

競技・審判上の諸注意

競技委員長 森 伸行

審判委員長 白木 信之

* 大会運営をスムーズにするために、以下の事項について、選手への伝達および指導をお願いいたします。

1. 競技規則について

- (1) 2022年度(公財)日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。ただし、別に定める小学生のための特別ルール(フリーポジション制)を用いる。また、今大会は、交流戦も含め15点3セットマッチで行う。ただし、準決勝・決勝は21点3セットマッチで行う。
- (2) 全て試合は、ワンボールシステムで行う。(ミカサ V400W-Lを使用する。)
- (3) リーグ戦の順位については別紙参照のこと。

2. エントリーについて

- (1) 大会申し込みの構成メンバーによる。
- (2) 構成メンバーの変更は、受付時までとする。

3. トスについて

- (1) トスは、正式に登録された両チームのチームキャプテンで行う。
- (2) トスの際、両キャプテンはユニフォーム姿で記録席前に集合する。キャプテンマークは、ルールによって胸番号の下を厳守する。

4. ベンチについて

- (1) 監督・コーチ・その他(マネージャー)各1名、選手12名以内とし、それ以外は認めない。
- (2) 監督は、記録席に最も近い位置に着席しなければならない。
- (3) 監督・コーチ・その他(マネージャー)章のマークを左胸部につける。
- (4) チームスタッフの服装は、統一されたもの、もしくは、正装であること。(Tシャツ、短パン姿は認められない。腕まくりや、すそまくりなども慎むこと。)
- (5) 監督・コーチ・その他(マネージャー)の内、1名以上は日本小学生バレーボール連盟指導者講習会の受講証明書または日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録証を首からかけるなどして携帯していなければならない。(試合前の監督サインのときに確認する。)

5. 公式練習について

- (1) 公式練習は6分間とし、個別に希望する場合は、サーブ権を得たチームから各3分間行う。
- (2) 公式練習は、エントリーされたメンバー以外は認めない。

6. プロトコールについて

- (1) 本大会は、プロトコールで行うものとする。ただし、ゲーム終了後は、エントリーされた選手全員がエンドライン上に整列し、審判の吹笛によりアタックラインに移動し礼をする。握

手は行わない。

7. ゲームの進行について

- (1) 監督は、タイムアウトの要求をハンドシグナルにて行う。
- (2) 競技者交代は、クイック・サブスティテューションを採用しているため、ハンドシグナルを示す必要はない。
サブスティテューション・ゾーンに交代競技者が入った時点で副審は吹笛し、競技者交代を完了する。複数の競技者交代の場合は、交代する競技者が同時にサブスティテューション・ゾーンに入ること。
- (3) ウォームアップは、ウォーミング・アップ・ゾーンでボールを使用せずに行う。それ以外の選手・役員はベンチに着席する。
- (4) 監督は、ベンチ前のフリーゾーンで立ち上がったり、歩いたりして、コート上の選手に指示することができる。ただし、ラリー中は着席していなければならない。
- (5) 反スポーツマン行為は厳に慎み、小学生らしいマナーでプレーすること。また、チームスタッフも選手や相手チームを誹謗するような言動などが認められた場合は、チーム警告の対象になるので慎むこと。特に暴力行為が認められた場合は、失格処分となる。
- (6) 反則により吹笛された場合、該当選手は挙手するように指導する。
- (7) 一度記録員に提出されたラインアップ・チケットは、記録員にミスがない限り、変更することはできない。
- (8) セット開始時、スターティングメンバーは、サーブ順にアタックラインから一列に並ぶ。その際、全員副審側に向き、番号を見せる。
- (9) ベンチスタッフ・控え選手はマスクを着用すること。

8. 試合中のコートワイピングについて

- (1) ゲーム中は、モップの使用を禁止する。
- (2) ゲーム中、床がぬれて危険な場合は、選手が乾いたタオルで素早く拭くようにする。
- (3) タイムアウトおよびセット間については、モップを使用してワイピングすること。

9. その他

- (1) ゲーム終了後、チームキャプテンは記録席に行き、記録用紙にサインをする。他の選手は、速やかにベンチをあけること。
- (2) ゲーム間の練習については、次の試合のチームのみコートの使用を認める。ただし、ネットを使用する練習は認めない。(セット間についてはルール通り、試合をしているチームのみがフリーゾーンを使用する権利を有する。)
- (3) 30秒間のテクニカルタイムアウトの適用(第1・第2・第3セット:リードするチームが8点目に達した時、準決勝・決勝は第1・第2セットは11点、3セット目は8点に達した時)給水のためのタイムアウトとして適用し、選手に給水させなければならない。
- (4) 給水の為に使用するボトルはスクイズボトル、またはワンタッチで開閉出来る水筒に限る。ペットボトルやスクリュウキャップを開けて飲む物の持ち込みは認めない。
- (5) 交流戦の審判はチームにお願いする。